

令和8年度 練馬区立上石神井中学校 学校経営計画

練馬区立上石神井中学校
校長 蓮池 和彦

はじめに

『「子供に幸せになってほしい」と願わない保護者や教職員はいない。』という信念のもと、今年度も区の方針をふまえ、生徒の発達を支えるような生徒指導を講じて、教職員が力を合わせ学校を安心して楽しく通える魅力ある環境とし、保護者・地域の期待と信頼に応える学校教育を推進していく。

学校経営の基本理念 : 「環境は人を育てる」(人的・物的・言語環境を整える)

I 教育目標

現在の義務教育に求められているのは、激しい変化とグローバル化の進展した社会の中で、自立して生きることができる総合的な力としての「人間力」の向上である。

その実現に向けて、練馬区教育委員会の教育目標ならびに生徒・保護者・地域社会の実態に基づき、次のとおり「教育目標」と、教育目標をさらに短い言葉で表した「校訓」を設定する。

◆ 教育目標

人権尊重の精神を基に、心身ともに健康で正しい判断力を持ち、自主性のある情操豊かな生徒の育成を図る。

1. 進んで学習する生徒
2. 進んで協力する生徒
3. 進んで心とからだを鍛える生徒

◆ 校 訓 探究 誠実 協働 健康 共生

(1) 進んで学習する生徒

知識や技能は日常生活や社会の中で正しく活用されてこそ意味がある。授業において基礎・基本を確実に習得させるとともに、課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力、そして主体的に学ぼうとする意欲を高める指導を工夫することにより「探究する生徒」を育成する。

(2) 進んで協力する生徒

社会は一人一人が異なる個人で形成されており、マナーやルールを踏まえた言動によって集団の力が発揮できる。日々の授業や行事、部活動等の教育活動をとおして生徒の規範意識を高め、「誠実な生徒」を育成する。

また、自らの役割と責任を自覚して最後までやり遂げさせることにより、望ましい勤労観や職業観をはぐくみ、人権尊重の精神に基づいて、認め合い節度ある行動ができる「協働する生徒」を育成する。

(3) 進んで心とからだを鍛える生徒

心身の健康は生きる力の源であり、日常生活の基盤である。オリンピック・パラリンピック教育レガシーの推進をとおして運動や部活動への積極的な参加を促し、家庭と連携して望ましい生活習慣や食習慣の確立を図り、心身ともに「健康な生徒」を育成する。

また、グローバル化、国際化した社会で生きるため、自国の伝統文化を正しく理解し外国の文化や言語について理解を深めさせ、積極的にコミュニケーションを図る能力や態度を育成する。こうした体験的教育活動をとおして「共生する生徒」を育成する。

2 目指す学校像

次のような学校像を掲げ、その実現に向けて「先見性・勇気・行動力」をもって、学校経営を推進する。

- ◇ 生徒一人一人が自らのよさや可能性を認識し、意欲的、創造的に活動する学校
- ◇ 生涯学習の視点に立ち、生徒の関心・意欲を高め、生涯にわたって学び続けるために必要な知識や、学び方等を身に付けられる授業が充実している学校
- ◇ 生徒指導上の課題等に迅速に対応し、教育活動の改善・充実に一致協力して取り組む、組織的な学校
- ◇ 家庭や地域社会との相互理解や連携・協力体制を築き、学校の役割を積極的に果たして家庭や地域からの信託に応える、開かれた学校

3 学校経営の基本方針

- (1) 生徒一人一人の実態把握に基づき、生徒が個性や特性を発揮できる環境や指導の工夫改善を進める
 - ① すべての生徒に対して教育相談的な姿勢で個々の状況把握に努め、成長に向けて支援する。
 - ② 日々三感（存在感・所属感・充実感）を味わいながら生活できる環境づくりを推進する。
 - ③ 生徒自身に自己の目標を設定させ、その目標達成に向けて挑戦させる。
 - ④ 生徒の社会性や豊かな人間性の育成につながる体験活動や奉仕活動を推進する。

- (2) 生涯学習の視点から、「基礎・基本」が身に付くような授業実践を積み重ねる
 - ① 生徒一人一人が関心を高め、意欲的に学びたくなる授業、個に応じた指導を工夫する。
 - ② 基礎的・基本的な内容を確実に定着させる授業と補充的な学習を充実させる。
 - ③ 主体的・協働的な学習を通して思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動を充実させる。
 - ④ 小中一貫教育を推進し、学びの連続性を意識させて達成感や学力の向上を実感させる。

- (3) 家庭・地域社会等との相互理解や連携・協力により、地域に根ざした学校をつくる
 - ① 学校の基本姿勢や教育活動を積極的に発信し、保護者や地域の理解を得る。
 - ② 保護者や地域からの情報等に対して謙虚に耳を傾け、誠実に対応する。
 - ③ 地域の教育力の活用や地域活動への積極的な参加を促し、生徒の自立や社会性を育成する。

- (4) 教職員一人一人が個性を発揮しながら切磋琢磨し、一致団結して課題解決に臨む組織力の高い職場づくりを進める
 - ① 生徒一人一人の学力を高めるための指導力向上に向けた授業研究、校内研究を充実させる。
 - ② 人権尊重の視点に立った生徒理解と指導、望ましい人間関係づくりを推進する。
 - ③ 生徒の自己実現に向けて、使命感をもって積極的に指導にあたる教職員の組織づくりを推進する。
 - ④ 教育計画を確実に実施する効率的で合理的な分掌組織とOJTを推進する。

- (5) 支援が必要な子どもたちへの取組を充実させる ～ 特別支援教育の推進 ～
 - ① 都立特別支援学校の「センター的機能」を活用した校内研修会を実施し、配慮を要する生徒へ必要な助言または援助を学ぶ機会をもち、生徒指導に生かす。
 - ② 生徒一人一人を大切にしたい教室環境を作り、安心して過ごせる教室環境づくりを行う。